

NEWSLETTER NO. 1

154 東京都世田谷区世田谷4-28-1 TEL.03(422)5341 (内線) 635/636

《本号の内容》

- 1: 発刊のあいさつ
- 2: 教室をめぐる動き: 63年度教室人事
- 3: 研究室の開室日・時間: 各先生の講義・在室時間割
- 4: 本年度開講専門科目の一覧と担当者・開講日
- 5: 新カリキュラムの説明と科目の学年別配当
- 6: 研究教材用備品、図書の整備状況など
- 7: 今年度の巡検について
- 8: 教室スタッフの最近の活動と予定

発刊のあいさつ

専攻主任 大崎 晃

地理学教室は昭和41年の創設以来22年を数えますが、おなじ頃発足した教室としては奈良大学が、後れて出発した教室には関西大学があるくらいですから、本教室はわが国の大学のなかではもっとも後発の部類に属しましょう。本教室はその後内外の事情から創設の基礎を築くのに10年余を要し、ようやくこの数年来、教員の世代交替、現代化にむけてのカリキュラムの改訂、地理学会を通じての教職員・学生・卒業生間のコミュニケーションおよび研究活動などが軌道にのるようになりました。しかし、備品・施設の整備、教室の将来構想および計画づくり、学生の学習・研究活動の一層の活性化、卒業生との連繋など、大小さまざまな課題がまだ山積しております。その中でも、すでに本年度の予算がついている写真関係の授業ができるような9号館の暗室工事、昨年度から整備にとりかかった考古学との共同の16号館の標本資料室を一般公開にこぎつけること、学生の各種学習・研究グループが同時並行して開業できるような教室内の環境づくり、平素失礼申し上げている非常勤講師の諸先生方とのコミュニケーションなどは、本年度中に是非とも実現したいと念じております。

さて、この度おそまきながらアメリカの大学の教室のように、本教室でもニューズレターの発刊を企画いたしました。このニューズレターは、関係者方々の便宜に供するために教室の情報を提供するもので、今後折りにふれ刊行していく予定ですので、どうぞご利用いただきたいと思っております。

教室をめぐる動き: 63年度教室人事

<退任>

浅井 得一 先生 (停年)

<兼任の退任>

北川 善広 先生 (本属工学部の都合)

<在外研究>

長島 弘道 先生 (カナダ・ハンガリー)

<新任>

長谷川 均 先生 (専任講師)

瀬戸 玲子 先生 (非常勤講師・元建設大学校教官)

小倉 真 先生 (非常勤講師・千葉商科大学助教授)

福島 義和 先生 (非常勤講師・専修大学助教授)



Jack pine



Black spruce



Eastern hemlock

1988年度 講義・在室時間割

Os: 大崎 No: 野口 Ot: 太田 Ha: 長谷川 イニシャルは講義時間を示す
 : 鶴川校舎 : 在室時間 (----- は、在室していることが多い)

	9:00-10:30	10:40-12:10	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40
月			Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot		No No No No No
火	Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha		Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot		
水	Os Ha ----- Ha Os				
木		Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha		----- Ha Ha Ha Ha	
金	No No No No No No No No No				No
土	Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os				

12h30m~教室会議 13h30m~教授会

- ・金曜日、会議のある場合は全員が出校しています(月1回)。
- ・上記時間以外の面会、相談などはAppointmentによります。
- ・研究室の電話は、422-5341(内線) 635:大崎・野口、636:太田・長谷川・(長島)。

本年度開講地理学専攻専門科目一覧と担当者・開講日

(カリキュラム移行期間につき、旧カリキュラム科目も含まれている)

学年	科目名	担当者	曜日時間	学年	科目名	担当者	曜日時間
1	人文地理概説	大崎 晃	木5	3	外国地誌IV	大崎 晃	土1
1	自然地理概説	野口泰生	木5	3	外国地誌V	野口泰生	金1
1	計量地理入門	長谷川均	火2	4	外国地誌VI	小倉 眞	火1
2	地理概説 I	大崎 晃	木4	3/4	課題研究	大崎 晃	土4・2
2	地理概説 II	野口泰生	木4	3/4	課題研究	野口泰生	月3・5
2	地理学実習	長谷川均	火1	3/4	課題研究	太田晃舜	火4・5
3	地図学	瀬戸玲子	月5	3/4	課題研究	長谷川均	木5・1
3	地理学演習 I	横山秀司	金3	3	課題研究	横山秀司	金2
4	地理学演習 II	小倉 眞	火2	1-3	地理巡検	大崎 晃	集中講義
2	地形学	長谷川均	火3	1-3	地理巡検	野口泰生	集中講義
3	地質学	田淵 洋	木4	1-3	地理巡検	太田晃舜	集中講義
3	気候学	野口泰生	金2	1-3	地理巡検	長谷川均	集中講義
3	生物地理学	横山秀司	金4	3	測量学	瀬戸玲子	月4
3	歴史地理学	大崎 晃	土3	4	測量実習	柴田英明	月3-4
3	経済地理学	上野和彦	土2	3	情報学概論	小亀 淳	火5
4	地域開発論	上野和彦	土1	2	プレゼンテーション A	川崎浩夫	
4	リモセンシング	長谷川均	木3	2	プレゼンテーション B	守谷哲夫	火3
1	日本地誌	太田晃舜	木4	2	プレゼンテーション B	矢島龍司	
2	日本地誌特論	福島義和	金3	2	プレゼンテーション B	小亀 淳	
2	外国地誌I	福島義和	金4	2			
3	外国地誌II	横山秀司	金5				

以上40科目、16先生

古今書院の雑誌「地理」33巻4号(1988),60 ページに掲載された「全国大学地理学コースデータ集計」に見られる国士館大学地理学専攻の常勤+非常勤教員数9名という記述は専門科目の教員数だけを取っても明らかに誤りです。地理学専攻関連科目(他学部、他学科含む)の教員数は18名です。

地理学専攻専門科目新カリキュラム

(1988年入学の1年生から実施。●●●●は新設・新名称科目。全専門科目の4割が変更された)

＜概説・演習＞	011	人文地理概説(地理と現代社会、資源、開発、産業、都市)
	012	自然地理概説(人間の自然環境:気候、地形、植生、土壌)
	031	文献研究(外国語地理学文献の紹介、講読演習)
	032	課題研究(地域調査法と論文作成法、卒論演習)
＜地誌＞	111	日本地誌
	121	首都圏地誌(東京首都圏の地誌)
	122	外国地誌(アジア)
	131	外国地誌(ヨーロッパ)
	132	外国地誌(アメリカ)
	133	外国地誌(途上地域)
	141	外国地誌(環太平洋地域)
＜人文地理＞	231	歴史地理学(歴史時代における景観と空間の創造と変化)
	232	経済地理学(農業、工業、商業の立地論、地域空間の相互関係)
	233	都市地理学(都市の成長、機能、適応、空間構造と政策)
	234	民俗学(文化の基層にある生業、慣習、宗教、社会、調査法)
	235	文化人類学(民族生活の生成、発展、本質の比較、調査法)
＜自然地理＞	241	地域計画論(地域開発と地域計画プログラム、その問題点)
	321	地形学(日本の侵食・堆積地形、構造地形、プレートテクトニクス)
	331	気候学(日本の四季、気象観測と資料、気象災害、大気循環、気候変化)
	332	生物地理学(生態系概念、栄養素の循環、遷移、植生区分、調査法)
	333	第四紀学(第四紀の自然環境と変化)
	334	資源管理学(土地分類、利用、保全、保有、評価、地域的資源利用)
	341	環境アセスメント(環境アセスメント要素の分析、分析の手法)
＜情報解析法＞	411	計量地理入門(データの取り方と処理:仮説の検証、標本法、相関係数)
	421	地理実習(観測器具の使用法、それを使用する際の課題のまとめ方)
	432	地図学(地図の歴史、種類、作成法、利用法、理論)
	441	地図製作法(レタリング、ディアゾ、暗室作業、コンピュータマッピング)
	442	リモートセンシング(理論、空中写真・衛星写真判読、PC処理)
	422	プログラミングA(プログラミング技法の基礎と端末装置操作法)
	423	プログラミングB(プログラミング技術のより高度な技法)
	431	情報学概論(情報処理の方法とコンピュータの応用)
	432	測量学(基礎理論、平板・水準・三角・三辺測量の原理と器材)
	443	測量学実習(各種測量法の実地練習)
＜巡検・卒論＞	451	地理巡検(地域分析の目的、手段、方法、特定地域への応用)
	051	卒業論文

新カリキュラム実施にともなって廃止・名称変更となる科目

地理概説Ⅰ、地理概説Ⅱ、地域論、集落地理、人口地理、政治地理、日本地誌特論、外国地誌Ⅰ～Ⅶ(北アメリカ、南アメリカ、オセアニア・両極など)、地理学演習Ⅰ、地理学演習Ⅱ、地質学

昨年度、文学部で実施した学生意識調査の集計結果によれば、「地理学専攻」の内容・名称を古くさいとみる意見は少ないようです。しかし、実社会における専門の細分化・高度情報化・国際化・高学歴化・高齢化といった大きな社会的変革の中で、学問の世界にあっても、これまでの既成の領域を越えて柔軟な対応が求められています。このような観点から、地理学教室では積極的にカリキュラムの改訂に取り組んでおり、ここ数年で開講科目の名称・内容に大幅な変更が行われました。

・「文学部学生意識調査」および「文学部教員意識調査」の結果をとりまとめた冊子の希望者は地理学教室まで問い合わせして下さい。

地理学専攻専門科目学年別配当
(1988年4月)

(人文地理)	(地誌)	(概説・演習)	(情報解析法)	(自然地理)
1 年生				
	111 日本地誌		411 計量地理入門	
		011 人文地理概論		
		012 自然地理概論		
2 年生				
	121 首都圏地誌		421 地理実習	
	122 外国地誌(アジア)		422 プログラミング A	321 地形学
			423 プログラミング B	
3 年生				
231 歴史地理学	131 外国地誌(ヨーロッパ)			331 気候学
232 経済地理学	132 外国地誌(アメリカ)	031 文献研究	431 情報学概論	332 生物地理学
233 都市地理学	133 外国地誌(途上地域)		432 地図学	333 第四紀学
234 民俗学			433 測量学	334 資源管理論
235 文化人類学				
		032 課題研究		
4 年生				
241 地域計画論	141 外国地誌(環太平洋)		441 地図作成法	341 環境アセスメント
			442 リモートセンシング	
			443 測量学実習	
		051 卒業論文	451 地理巡検	

昨年度研究室で購入した研究教材用の主要機器 (括弧内は個数)

・デジタルノギス(3) ・デジタルノギス用プリンタ(3) ・粒度分析用ピペット:細粒物質用
 ・粒度分析フルイ用電動ブラシ ・超音波洗浄器 ・デジタル温度計(3) ・デジタル温度計用センサ(地温、気温用各3) ・牧野マイクロアナネモ(微風向風速計)(2) ・パソコン一式(PC9801VM21,ディスプレイ、インクジェットプリンタ、プリンタパッファ、ストリーマー付20Mハードディスク) ・磁気テープ ・フロッピーディスクなど

卒論などに向けて機器を購入して欲しいという希望は早めに(3年生は10月上旬までに)各教員まで申し出て下さい。できる限り希望に応えられるよう検討します。なお、教室所有の全機器のリストは野口または長谷川まで問い合わせして下さい。

今年度は、地図製作法(新カリキュラム)に使う暗室備品、気象観測機材、パソコン一式(PC9801)、XYプロッター、デジタイザなどを購入します。昨年あたりから卒論やレポート作成に利用頻度の高いパソコンですが、地理学教室で使用できるパソコンは今年から3セットになります。これとは別に情報科学センター(旧電子計算機センター)の大型コンピュータが新しくなることに伴い、メーカー(富士通)からパソコンが提供され文学部にも配備される予定です。これらのパソコンはリモートセンシング、地図製作法などの講義で使用するほか、講習を受けた学生は教員が使用していない時に使用することができます。講習(ワープロ・集計表その他)は不定期に開いています。何人かまとめて野口、長谷川に申し出て下さい。



Basswood



Sugar maple



Red maple



Silver maple



Yellow birch

新規購入した研究室図書（1987年度）

昨年度は予算運用の都合上、教室で購入した図書は少なめでした。88年度は既に約100冊ほどの図書をリストアップして購入をはじめています。購入希望図書のある者は早急に野口まで申し出てください。

昨年度購入主要図書リスト

古今書院： 雑誌「地理」1年分 都市空間の立体化（戸所） 図説日本の災害（菊池） 桑と繭（大泊） 土地・水・地域（新井）	ぎょうせい： 海外の都市政策事情（土岐） 緑化対策の基礎知識（環境文化研究所）
中央経済社：大型店vs商店街（坂倉） 小売業の街づくり戦略（和田）	ミネルヴァ書房：都市化の社会学理論（鈴木他） パンリサーチ出版局：自由時間都市（ビ・エール・ラジメ）
日本経済新聞社：列島ホテル戦争（岡本） 九州新時代 （日本経済新聞社編）	工業調査会：アークヒルズ（全国市街地再開発協会） 学研：日本の植生（宮脇） 土質工学会：土質試験法 朝倉書店：気象調査法（朝倉他） 防災と気象（宮沢） 農林水産と気象（内嶋） 健康と気象（佐々木） 教養の気象学
都市文化社：岐路に立つ都市再開発（坂和他） 山と溪谷社：日本の野草 日本の樹木	古書など：地理学文献目録第1、2、3集（1945～1962） 尾瀬か原の植生 霧ヶ峰の植生（第1部、2部）
東海大学出版会：植物生態の観察と研究（沼田）	
大明堂： 輸送園芸の地域的分析（坂本）	

研究室所有の研究機材、研究図書、資料の問い合わせ先

- ① 研究機材（地理学教室備品・実験器具）のリストは野口、長谷川へ。
- ② 図書館、教室で所有している地理学関連図書、雑誌の問い合わせは野口、長谷川へ。
- ③ 研究室図書の閲覧・借り出しは、地理学第2研究室へ。
- ④ 研究室所有の空中写真、LANDSAT DATA FLOPPY DISK（他機関から借用中も含む）リストは長谷川へ。
- ⑤ 自然地理学関連文献データベース。野口、長谷川は所有文献のデータベースを作成し、パソコンに入力中です。これらの使用、情報供与に関しては個人的に交渉して下さい。野口のデータは今のところ気候学、植物生態学を中心にした約1万件以上の自然地理論文（主に欧文）。長谷川のデータは地形、REMOTE SENSINGを中心に約1500件（欧文、邦文）です。

----- 次のリストは88年10月以降に公開予定です（現在整理中） -----

- ⑥ 研究室所有の地形図リスト。
- ⑦ 過去数年間の卒業論文リストと卒業論文。（10月までは各先生へ問い合わせして下さい）。
- ⑧、⑦の整理にあたって学生のボランティアを募集します。各リストの恩恵を受けるのは学生諸君です。協力をお願いします。

今年度の巡検について

- 5月26～27日：1年生地理巡検。埼玉県三芳町上富地区をフィールドとして実施。現地土地利用図の作成、地理景観の観察、クリノメータの操作法などについて学習しました。
- 7月24日：国土館大学地理学会巡検。福島義和先生のご案内で「都市河川を見る：野川流域」での巡検を実施する予定です。
- 9月12～14日：国土館大学地理学会夏季合宿巡検。野口・長谷川先生の指導で、沼津市周辺の小気候（防風林）に関する調査。
- そのほか、2年・3年の定期巡検（10月、12月）、学会巡検（2月）、自主巡検などが計画されています。

教室スタッフの研究活動と予定
(ここ1年を目安に簡単にまとめてみました)

大崎 晃教授

出版物: など

- 1988 1月「静岡県焼津における鰹漁業の出資漁撈組織と同族」法政大学教養紀要、社会科学篇67, 25~44.
1988 2月 答案採点などの結果、多数の成績を発表す。
1988 3月『図説日本の地域構造』石井素介他編著。古今書院の第3刷がでる(横山先生らと一部を分担執筆したもの)。
1988 4月 やはり一部に分担箇所のある『海を語る』大島襄二編著。海青社。
1988 5月「ペルーのアンチョビー漁」歴史と地理 392。
感想: もっぱら他人の糧ばかり……………。

今年のこれからの心づもり:

- 益子(栃木県)の調査: 終盤の段階。
焼津(静岡県)の調査: 中盤の段階。
糸満(沖縄県)の調査: 準備・学習の段階。
海外の調査 : とてもそこまで余裕がなく考えたことのない段階。

長島 弘道教授

(本年度海外(カナダ、ハンガリー)研修中。カナダからの便りを次号に掲載する予定です)

野口 泰生助教授

出張: Jan.1987-May 1987 ハワイ大学地理学科客員助教授

出版物:

- 1987 Salt Spray: Its Directional Stress on Plants on the Island of Oahu, Hawaii.
国土館大学文学部人文学会紀要、19, 159-180.
1987 「文献整理」、国土館大学付属図書館報: 松陰、12, 6~7.
1987 「地理授業と視聴覚教材」、地理月報、346(2)、1~3.
1987 Physical Factors Controlling the Formation of Patterned Ground on Haleakala, Maui.
Geografiska Annaler, 69 Series A, 329~342. (田淵・長谷川先生との共著)
1987 「教育現場での情報教育: アメリカでの体験」 国土館大学電子計算機センター広報誌: Flow, 13-2.

講演:

- 1987 マウイ島ハレアカラにおける縞模様地面の成因について、ハワイ大学、気象学科。
1987 日本における気象観測ネットワークと水収支、ハワイ大学、水資源研究センター。
現在行っていること: 長野県と埼玉県の切株を用いて、年輪と気候との関係を調べている。大きい木が切れたという情報をもとに、チェーンソーで切株を収集し、電気カンナかけ、サンダーかけ、デジタルノギスによる読み取り、計算機入力、統計処理、図化といった機械的な作業に明け暮れている。これまでに200本近い切株を集めたが、処理が追いつかないで困っている。

太田 晃舜講師

出版物:

- 1987 「ベトナムにおける都市形成過程の特徴」 歴史地理学 136, 18~27.
1988 「インドシナにおける土地所有変遷過程の政治地理的考察」 国土館大学人文学会紀要 20, 59~75.
1988 「島嶼国日本のフロンティア地帯的性格」 地理 33-1, 88~93.

現在行っている研究:

- ・ベトナムにおける政治空間形成過程の特徴に関する地理学的研究(地域形成・地域差・緩衝地域)。
- ・江戸時代における越後牧村の戸口変遷と開発過程(その二: 江戸期・戸口・開発)。

予定:

- ・日本地理教育学会総会および研究発表大会に参加予定。1988年 8月2~4日、香川大学教育学部。
- ・26th Congress of the international Geographical Union .The University of Sydney.
August 19-31.1988 に参加予定。
- ・日本地理学会秋季学術大会に参加予定。1988年 9月27~10月 1日、愛知教育大学。

長谷川 均講師

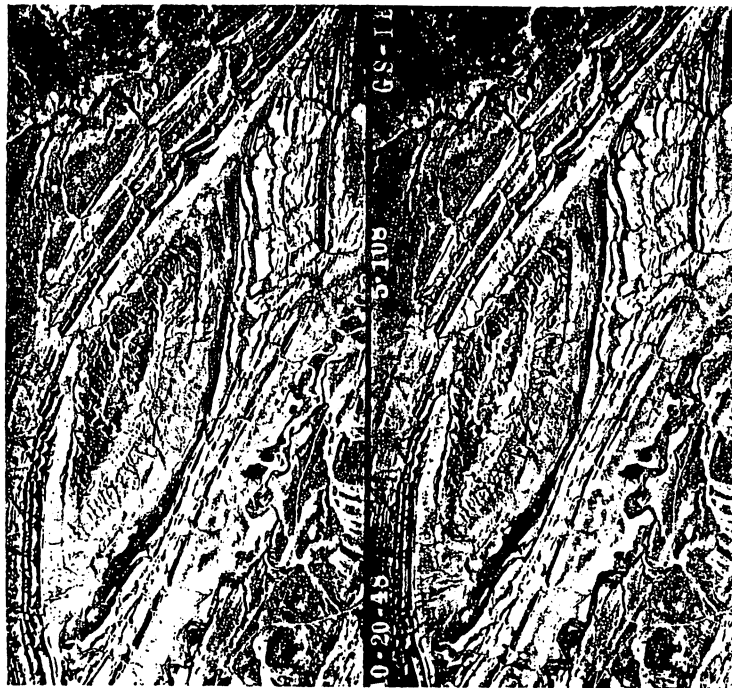
出版物:

- 1987 「中国東北地方ホルチン沙地の風成地形」『叔軒李延冕博士回甲記念論文集地理学Ⅱ理論の応用』1023~34. ソウル.
- 1987 「オホーツク海沿岸、浜小清水におけるIcefoot 形成期の海浜堆積物とNiveo-aeolian Depositsについて」法政大学多摩研究報告 2,13~25. 長谷川、田淵 安達、牧野の共著.
- 1987 「中綱湖の湖盆図」法政地理 15,83~87. 東郷、長谷川、深沢他の共著.
- 1987 Physical Factors Controlling the Formation of Patterned Ground..... (野口先生の欄参照)
- 1987 The Distribution of Sandy Sediments on the Coral Reef and Beach at Northeastern Coast of Ikei-jima, Okinawa. Science Reports of the Faculty of Education, Gunma University. 36,19~37. Hideo YAMANOUCI, Hitosi HASEGAWAの共著.
- 1987 「サンゴ礁の白い砂」自然保護 NO.305,22~23.

学会発表:

- 1987 「琉球列島久米島における洲島の地形変化」日本地理学会.
- 1987 「伊計島北東部のサンゴ礁海岸における砂質堆積物の分布について」日本地理学会. 山内、長谷川の連名.
- 1988 「オホーツク海沿岸のアイスフットの形成に関わる風の作用」第3回北方圏国際シンポジウム. 田淵、長谷川、安達の連名.
- 1988 「オホーツク海沿岸(浜小清水)におけるNiveo-Aeolian Deposits」同上シンポジウム. 長谷川、田淵、安達の連名.
- 1988 「小笠原諸島・父島のサンゴ礁地形. 北限地域のサンゴ礁を考えるために」日本地理学会. 中井、渡久地、長谷川、和田の連名.
- 1988 「ランドサット・MSSデータによるサンゴ礁の画像解析」日本地理学会.

現在行っていること: 「サンゴ洲島の地形変化」に関する論文をまとめ中。サンゴ礁性浅海域で LANDSAT DATA を利用する可能性について無い知恵をしぼっているところです。これに関連した予備調査で8月下旬~9月上旬に沖縄本島周辺、八重山諸島へ行く予定です。



Tilted interbedded sandstone and shale (anticline) in an arid climate, Fremont County, Wyoming, October 1948. 1:47,200. Stereogram. (USGS photos.)